



【取付工事を始める前に】


）付けください。

異常気象の高温時期や災害（地震等の急激な振動）のため温度ヒューズの誤作動や破損が確認できるところも含む。

- 防火ダンパーの使用については、お住まいの地区によって、異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁にご相談ください。
- 取り付け工事は専門店（販売店または、工事店）が実施してください。
- 適用ダクトの種類 スパイラルダクト、フレキシブルダクト、塩ビ管（VP、VU、SU）に接続可能です。
- 自然給排気口製品などの金網付製品はこまめな清掃メンテナンスが必要です。金網の目詰まりで起こる酸欠事故を防ぐためにも必ず実行して下さい。製品と建築物の美観維持にも役立ちます。

【安全上のご注意】 《必ずお守り下さい》

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険を次の表示で説明しています。

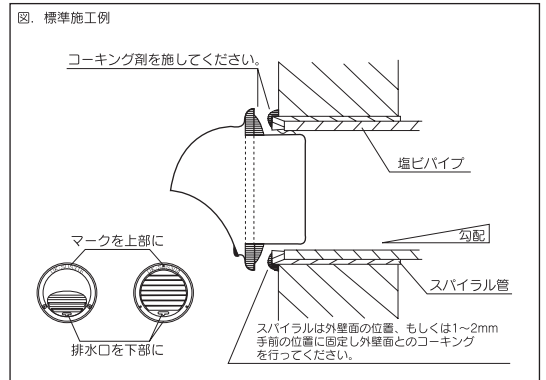
 この表示は、必ず実行していただく『強制』内容です。

施工例とメンテナンス方法

【施工例】

- ◇強制給・排気口用(水止め無し)には1/30以上の勾配が必要です。強風時には、雨水の浸入を防ぐ必要を確認してください。
- ◇自然給・排気口用には1/100~1/30以上の勾配が必要です。但しレジスターと直管接続の場合又は1/30以上を推奨いたします。強風時には、レジスター等の内装用部品は閉じる事が可能ですが、常時開く方向にセットをお願いいたします。閉鎖すると室内の酸素濃度が低下する恐れがあります。
- ◇防水処理(シーリング)方法
右図のように市販のコーキング材で外壁面の全周位置と、フードの全周に施し雨水の浸入を防ぐことを必ず行ってください。
- ◇標準取り付け例
右記のようにU・Kマークを上部にし排水口を下部にして外壁面まで配管されたスパイラル等のパイプに施工してください。本体が取り付け側ダクトに三点のパネによって固定されているか必ず確認後シーリングを行ってください。
- ◇施工時、製品に必要な以上の力を加えると、変形や破損等により製品機能が十分に発揮できない場合や、塗装剥離、ダンパー不動作、耐久性能低下が生じる可能性があります。製品を落下させたり、強打した時も同様です。
- ◇防火ダンパー付製品は、火災時に脱落しないよう、また煙が流出しないようにしっかりと風道(ダクト)に取り付けて下さい。
- ◇換気口内部やダクト内または、周囲に障害物を置かないで下さい。通気量の低下やダンパー不動作の原因となります。

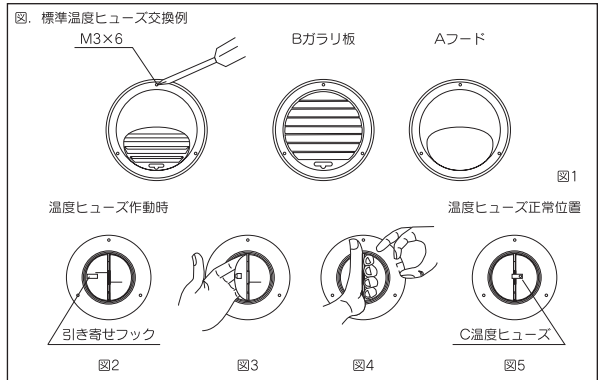
■雨水浸入防止対策として下図を参考に施工して下さい。



【温度ヒューズの点検、交換方法及びメンテナンス方法】

■点検、交換方法

- 図1. の様にAフード、Bガラリ板を止めている3点ビスを外す。U型フードワンタッチタイプは中央部ビスを外してください。
- 図2. の様にフックを右手でつまみ手前に引き寄せる。
- 図3. の様に左手でダクト内に手を添える。左右の羽根を中央部に引き寄せる。
- 図4. の様に引き寄せたダンパー部(左右の羽根)にC温度ヒューズをホルダーの規定位置に固定する。
- 図5. の様にダンパー部の温度ヒューズとホルダーが規定位置にあるか確認をする。
- 図1. の逆順でBガラリ板、Aフードの順に組立をしてください。



■メンテナンス

ステンレス材は、軟鋼やアルミニウムにくらべて、はるかに耐食性にすぐれ、非常にさびにくい金属ですが、絶対にさびない金属ではありません。使用条件や使用環境によっては、よごれることも、さびることも変色もあります。ステンレス材のよごれやさびの原因は、さまざまですが、ほとんどの場合、大気中に浮遊する鉄粉や有毒ガス中の成分の付着、あるいは潮風に含まれている塩分の付着などがあげられます。常日頃から清掃メンテナンス等に留意すれば、いつまでも、ステンレス材本来の美観を維持することができます。

金網付の製品は特にメンテナンス等が必要です。(金網付製品は厨房等で使用しないでください。油煙付着による目詰まりで通気量が減少することがあります。)

- ◇次の点に注意して手入れを行ってください。
 - ①金網についた綿ほこり等の目詰まりは、掃除機の細かいブラシ等の付属部品でほこりを吸い取るようにしてください。
 - ②表面についたほこりや鉄粉などはやわらかい布で軽くふきとるようにしてください。
 - ③指紋や油などは、水溶性の中性洗剤をやわらかい布につけて、軽くふきとりその後、乾いた布で水気を完全にふきとるようにしてください。
 - ④金属製ブラシや砂入りの粗い洗剤などは、きずの原因となるので、ご使用をお避けください。
 - ⑤酸性またはアルカリ性の洗剤(たとえば塩酸、硫酸、タイル洗浄剤)は変色を起こす恐れがあります。ご使用をお避けください。
 - ⑥外気温と室温との温度差や湿度により換気口に結露が生じることがありますので、乾いた布等でキレイに拭き取って下さい。
 - ⑦防火ダンパーが何らかの原因により作動した場合は、換気ができなくなりますので直ちに手動復帰して下さい。復帰作業は工事店様に御依頼下さい。

◇注意

お客様個人での清掃の際は安全性の確保(脚立等の足場)を確認してから、個々の手入れ方法に従って作業を行ってください。また、清掃薬液によっては手荒れやかぶれを起こす事があるので、必ずゴム手袋を使用してください。高所外壁面の点検や清掃メンテナンスの際は、専門業者の方にお任せください。

■落下の恐れがある場合

- ◇溶接組立製品は落下防止対策として、ビス止め用穴設置(2穴)を別注で承ります。
- ◇ビス脱着式の製品はあらかじめ取り付けあるビスを外してスクリービスをご使用下さい。壁紙によっては、あらかじめ耐食性の強いスクリーアンカーの敷設が必要です。